

動物解説員による 解説プログラム

動物や動物園について、ちょっと詳しく話してもらおうとお考えの時にご相談ください。来園目的や団体の年齢・規模にあった内容で動物解説員が対応いたします。以下のようなプログラムを行っている例が多いですが、すべて事前に打ち合わせを行い、これ以外のプログラムで実施することもできます。



クイズレクチャー

● 班行動で、子供のペースで見学・・・ 1・2年生におすすめ

入園 → クイズを解きながら班行動 (1時間) → 解説員と答え合せ会 (30分)

問題数は小学校低学年なら5・6問が適当です。形を見るものとしぐさを見るものを混ぜて出題するといろいろな動物の見方ができます。



スポットガイド

● 1種類の動物をじっくり見る・・・ 大きな団体におすすめ

入園 → 先生に引率されながら見学 → 途中1種類の動物を解説員と一緒に観察 (20～30分程度)

シカ・サル山・リスの小径のような大きめの展示の動物がスポットガイド向きです。人数が多い場合も、クラスごとに時間差をつけることで対応できます。

コースガイド

● 複数の動物をいろいろ見る

入園 → 解説員と一緒に3・4種の動物を観察 (45分程度) → 先生と一緒にほかの動物を見学

1グループとして対応できるのは30名程度までです。

テーマを持った見学

● 教科学習や特別な目的で動物園を利用する場合

見学の目的と展示が合っているか検討する必要があります。事前にご相談いただければ、さまざまな情報の提供、標本の利用などで、より目的に合った見学ができることがあります。同じ動物を1年間追跡すれば、野外ではなかなか出会えない動物の季節変化を調べることもできます。

これまで動物解説員と行った学習プログラム例

動物の食べ物しらべ

入園 → 動物園でのエサを予想 → いろいろな食性の動物を観察



井の頭池たんけん・身近な水辺しらべ

入園 → 井の頭池に仕掛けたトラップを観察 → 水生物館を見学



動物しらべ (4回連続来園)

- 1回目：導入のクイズラリー、調べる動物選び
- 2回目：班ごとの動物の観察 1回目
- 3回目：班ごとの動物の観察 2回目
- 4回目：調べた動物の前で発表



● 特別支援学校や学級のための見学プログラム

通常の展示よりも間近で動物たちを感じとってもらえるように、ふれあいコーナーのモルモットに加えて、アオダイショウやカエル、昆虫などを使ったふれあいプログラムをご用意しています。



見学相談・解説・教材の申し込み

正門脇の管理事務所においていただくか、電話でお申し込みください。動物解説員が不在の時は連絡先をほかの職員にお知らせください。こちらから折り返し連絡いたします。また、動物の解説は申し込みが重なっている日にはご希望に添えないことがあります。

見学相談、動物の解説、資料や情報の提供等は、すべて無料で行っています。対応する団体は、幼稚園・保育園、小中高、大学、専門学校、それ以外の一般団体まで制限はありません。

〒180-0005 武蔵野市御殿山 1-17-6 井の頭自然文化園 動物解説員

電話 :0422-46-1100 FAX:0422-46-1906 e-mail: bunkaenguide@tzps.or.jp